

「認知症と診断されたら、まずは歯医者さんへ ～介護者のための口腔ケア～」

演者：須磨区歯科医師会 小林 正樹

要約：

認知症が進むと、お口の中へ関心がなくなり、合わない入れ歯をそのまま使ったり、グラグラした歯で食事をするため、食事の摂取量がへり体力の低下や認知症を進行させる悪循環になります。口腔ケアとは、口の中を清潔に保つことで、口腔内だけでなく体全体の健康を保つケアのことです。さらに口腔ケアは「食べる」力を養うためのリハビリ効果が高く、認知症の症状の安定にも直接つながっていることがわかってきました。ではどのように口腔ケアを行っていけばよいのか？今回は実際の口腔ケアの方法を講演させていただきます。